

| | | | |
|-------|---------------|------|-------------|
| 3 類型 | 観光資源 | 通巻番号 | 5-25-005 |
| 地域資源名 | 府立保津峡自然公園、保津川 | 認定日 | 平成25年10月16日 |
| 地 域 | 京都府亀岡市 | 所管省庁 | 経済産業省、国土交通省 |

事業名：京都府立保津峡自然公園を馬車で巡る観光サービスの開発・販路開拓

会社名：株式会社京馬車
 連絡先：TEL：0771-23-0920
 FAX：0771-24-0621

所在地：京都府亀岡市三宅町八田39-2
 HP：http://www.kyobasha.jp/

事業概要（新たな活用の視点）

- ・本事業では、嵯峨野トロッコ列車の終着点であるトロッコ亀岡駅を出発点とし、四季折々の姿を見せる「京都府立保津峡自然公園」や自然豊かな「保津川」の景観をゆっくりと楽しみながら自然を体験・体感できる観光馬車サービスの開発・販路開拓を行う。
- ・観光客を保津川下り乗船場に繋ぐ新たな交通手段としての機能を観光客に対して提供するサービスである。
- ・馬の餌やり、乗馬体験等のサービスも提供する。

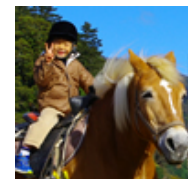
【馬車による自然観光】



～本事業による効果～

嵯峨野トロッコ列車や保津川下りなど、地域の観光資源を活用したサービスとの連携が可能となるため、観光客の満足度向上や旅行会社の仕入商材としての価値向上につながり、地域活性化に貢献できる。

【乗馬体験】



【保津川の景観】



売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力

- ・保津川下り乗船場までのコースは、保津川下りや保津川ラフティングを楽しみたい観光客に対し、交通アクセスの選択肢を増やし、単なる交通手段ではなく、ゆっくりのんびりと馬との触れ合いや自然を体験できる。
- ・京都府立保津峡自然公園を周遊するコースは、嵯峨野トロッコ列車で訪れる多くの観光客の満足度を高める地域の着地型観光サービスである。
- ・馬車3台により50人/回を運ぶことができ、団体旅行のニーズにも対応できる。

◆市場性

- ・近年は、見る観光から体験・交流、こだわりの観光へと観光客の志向が変化しており、本事業は自然体験の観光ニーズにマッチしている。

◆販路

- ・馬車乗り場での販売の他、自社ホームページからの直接予約、地域の関係事業者と連携した観光商品開発による旅行会社等に対するアプローチを実施し、国内外の観光客の集客を図る。
- ・各種メディア媒体へのプレスリリースや各種広告媒体等を通じて販売促進を図る。

地域資源における関係事業者との連携

- ・嵯峨野観光鉄道、保津川遊船企業組合、亀岡市観光協会、湯の花温泉等の地域の関係団体や地域の企業等と連携を図りながら、事業の企画・運営を行う。